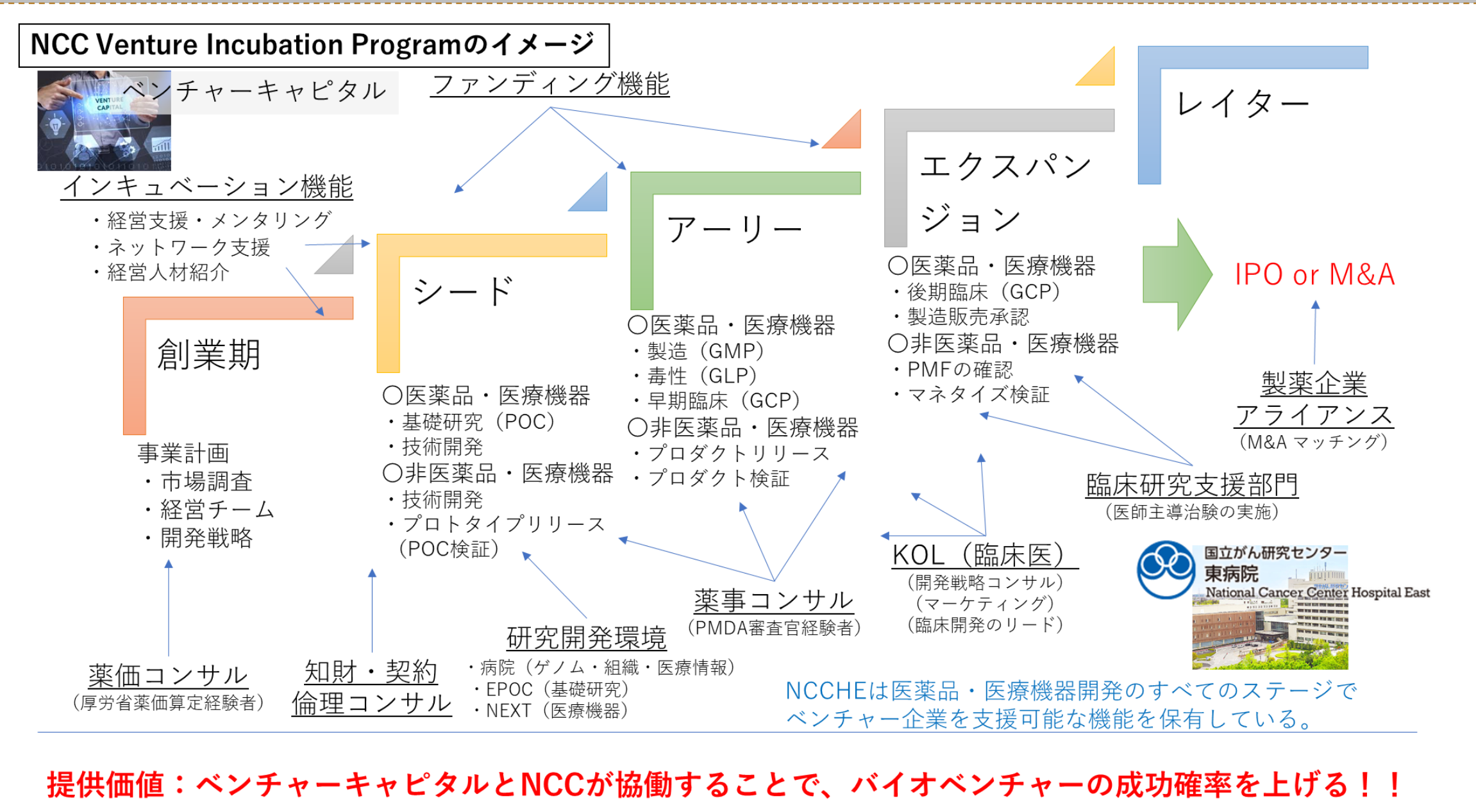


国立がん研究センター東病院

特色・アピールポイント！

- VCとの連携による事業化視点での実務的なインキュベーションプログラム
- 日本トップの治験実施実績を有する臨床研究支援部門による治験実施体制
- 医療ニーズと外部シーズのマッチングを推進し、革新的プロジェクトを創出

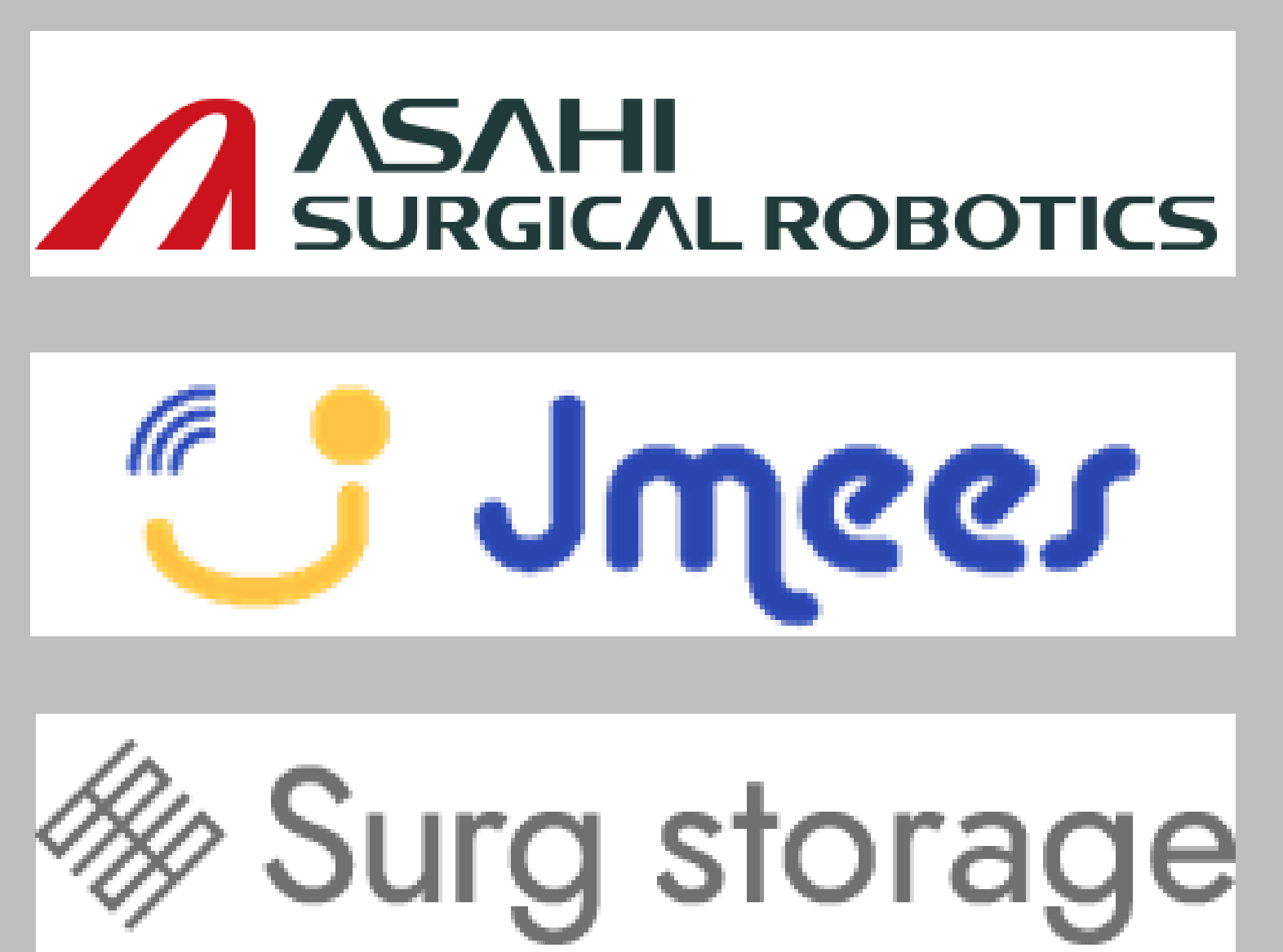
Venture Incubation Program



起業人材育成



NCC発スタートアップ



1. Venture Capitalと連携したインキュベーションプログラムを運営

NCC-
Venture
Incubation
Program

- NCCが保有する研究資源、支援機能をスタートアップ企業に提供し、革新的医療技術の実用化を促進する。
- NCCの支援機能に加え、VCの持つ経営支援機能を補完的に組み合わせることで、がんの革新的医療技術の実用化を目指すスタートアップの成功確率を上げる。

2. 臨床研究支援部門による支援内容

- がんの診断から治療まで、多岐にわたる領域のKOLによるアドバイス
- PMDAや製薬企業、医療機器メーカー出身者などによる多角的な支援
- PMDAとの相談や治験・臨床研究のプロトコル立案の支援
- 連携するVCによる事業化コンサルティング

3. 支援実績

- NCC-VIPでは、2022年度 7チーム(医薬品:4社、医療機器:3社)を支援
2023年度 6チーム(医薬品:3社、医療機器・医療IT:3社)を支援中
- 起業を目指す医師とエンジニアとビジネスパーソンの人材育成プログラム
2021年度 36名参加、2022年度 38名参加、2023年度 56名参加
- NEXT医療機器開発センターによる人材育成
臨床現場観察プログラムの参加者:243人(2022年度実績)

4.ベンチャー支援の流れ

窓口
受付

- シーズの概要や相談内容をベンチャー支援窓口にご連絡ください
- 窓口: ntakeshi@east.ncc.go.jp / asato@east.ncc.go.jp

初回相談
(無料)

- 臨床研究支援部門の担当者が具体的な相談内容をお伺いします
佐藤 暁洋(臨床研究支援部門長)
布施 望 (臨床研究支援部門 研究企画部長・薬事管理室長)
竹下 修由 (臨床研究支援部門 スタートアップ支援室長)

本相談

- 共同研究として進める場合、医師・統計家・PMDA経験者・製薬企業出身者などの各種専門家がコンサルテーションを行いながら支援します
 - 治験を見据えたTR研究の取り組み
 - 治験プロトコルの作成
 - PMDAとの面談に向けた助言

共同研究

5.支援実績例

 **MICIN**
株式会社MICIN

- 大腸がん、肺がん、胃がんの内視鏡治療後、手術後の早期回復を目指す周術期管理アプリの臨床研究を実施中
- 国内トップクラスの治療実績を誇る当院でのスピーディーな症例登録により、開発の迅速化につながる



※開発品のイメージ
左:患者アプリ 右:医師画面

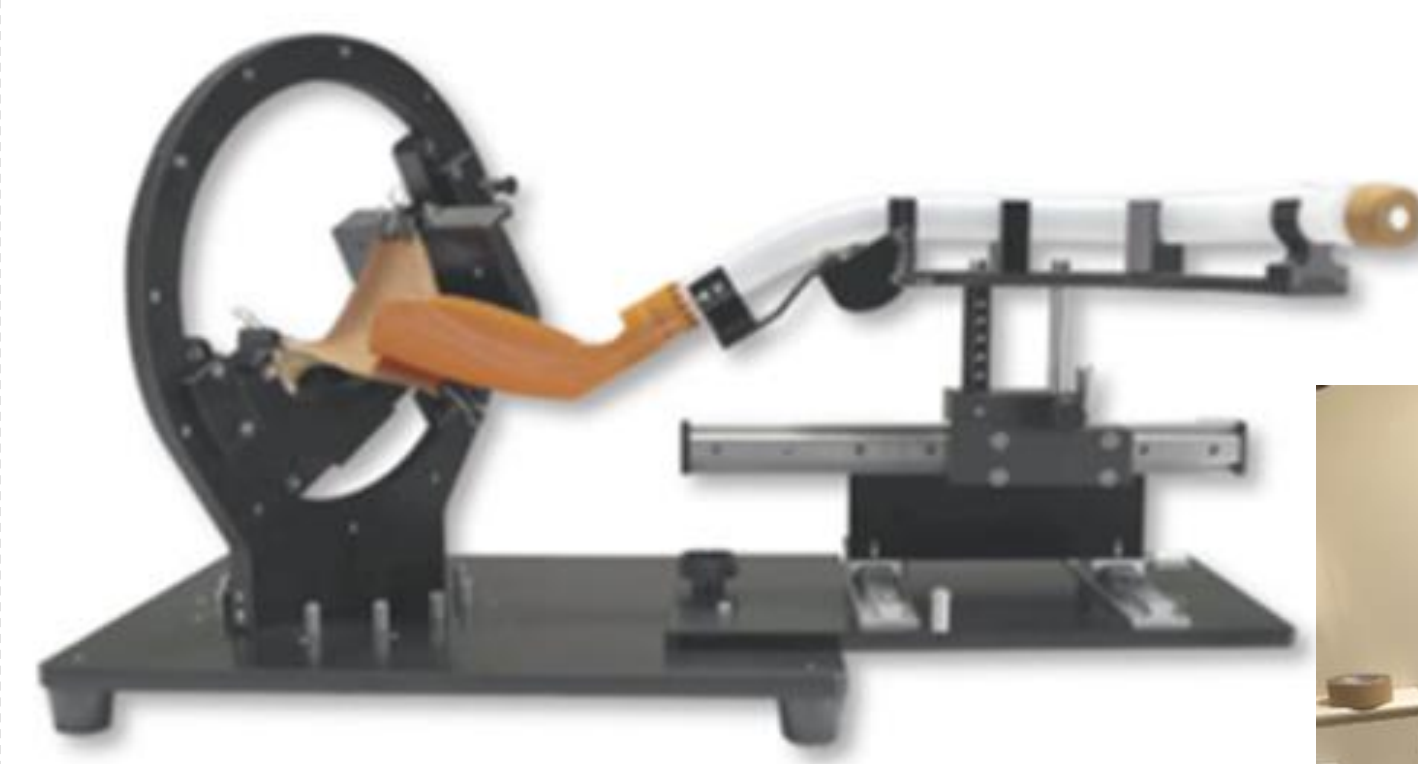
東病院との開発は、医療者の協力はもちろんのこと支援チームを含む医療機器開発体制が充実していて、迅速な製品開発を実現できます！

デジタルセラピューティクス事業部長
花館 忠篤 氏



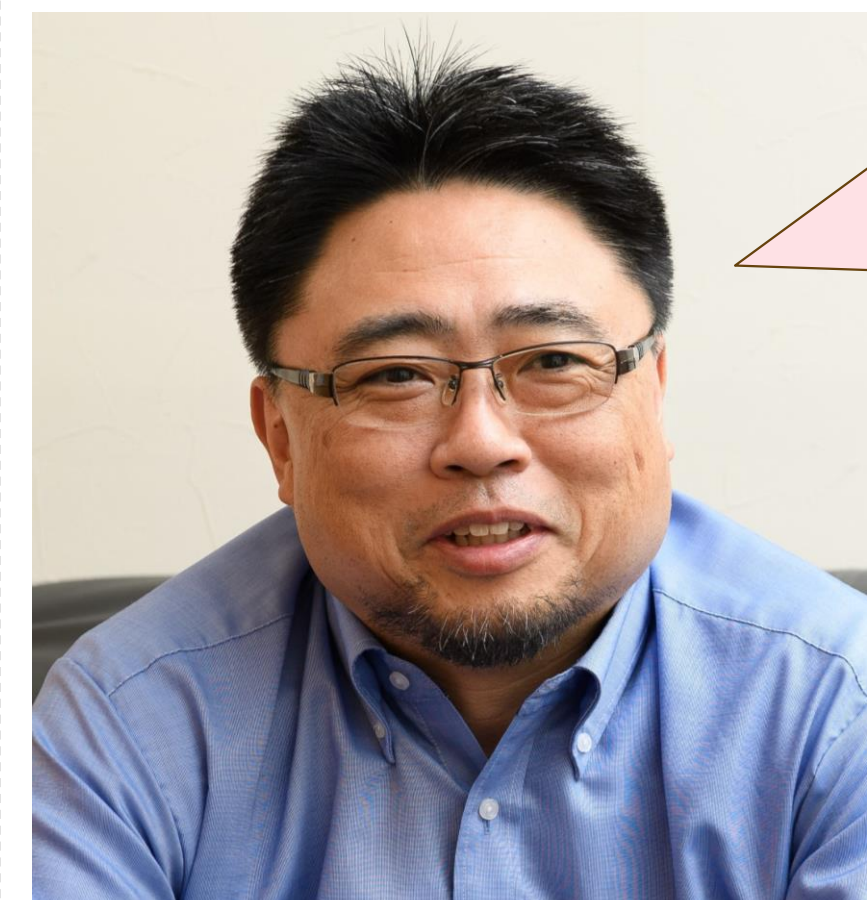
KOTOBUKI Medical
KOTOBUKI Medical株式会社

- 世界初の内視鏡下粘膜剥離術のトレーニング装置を開発
- 国内トップクラスの内視鏡治療実績を誇る当院の内視鏡医による試作評価



医療機関内での開発は、臨床医による試作の評価をスピーディに繰り返しながら開発することで、迅速な開発と改良が可能になります！

代表取締役
高山 成一郎 氏



お問い合わせ先

国立がん研究センター東病院 担当:竹下修由、佐藤暁洋

電話番号:04-7133-1111

メールアドレス: ntakeshi@east.ncc.go.jp / asato@east.ncc.go.jp